



PV SPクリーナー 作業手順書

必ずお読みください

■使用上の注意

- 作業前にSDSを読んでください。
- 作業時は必ず保護具を着用し、気分が悪くなった際は作業を中止してください。
- マグネシウム、チタン、ステンレスには使用しないでください。

■応急処置

- 誤って目に入った場合すぐに流水で15分以上洗眼し医師の診察を受けてください。
- 万一飲み込んだ場合、吐き出さず、直ちに水で口の中をよく洗浄し、多量の水又は牛乳を飲ませ、本品を持参の上、医師の診断を受けてください。

■保管及び廃棄方法

- 使用後は直射日光が当たる場所や温度が0℃以下、40℃以上になる場所、湿気が多い場所に保管しないでください。
- 廃棄の際は中身を使い切ってください。
- 子供の手の届く所に置かないでください。
- 吸入したり飲用したりしないでください。
- 目や皮膚に付着すると炎症を起こす恐れがありますので、保護眼鏡、保護手袋等を使用してください。
- 化学反応により有害なガスの発生や発熱などの恐れがあり危険ですので、他の洗剤や化学薬品と混ぜたりしないでください。

ご使用いただく機材

1

PV SPクリーナー



2

噴霧器



3

水切り用スクイージー



4

保護具

(手袋・マスク・保護眼鏡など)



5

温度計



PV SPクリーナー施工手順

1 下準備



- 噴霧器具にPV SPクリーナーを充填してください。
- パネルの表面温度を測定してください。

重要

- 作業の際は必ず保護具を着用してください。
(手袋・マスク・保護眼鏡など)
- パネルの表面温度は60度以下で施工可能です。
- パネルの温度が高い場合は水で温度を下げてから施工してください。

2 液剤の噴霧



- パネル表面にPV SPクリーナーを噴霧してください。
風が強い等、噴霧が難しい場合は柄杓等を使ってパネルに液剤を散布し、全体に塗り広げてください。
- パネル1枚(1.68m²)当たりの使用量の目安は100mlです。
- パネル表面が洗浄剤で十分濡れていることを確認し、約20秒放置し汚れを浮かせてください。
汚れがひどい場合はスポンジ等のパネルに傷をつけない洗浄用具で物理的に擦ることも有効です。

重要

- 吸引を防ぐため風下で作業しないでください。
- 油脂などで洗浄剤がはじかれる場合はスクイージーのスポンジ部分などで軽くこすってください。
- 冬の場合は放置時間を長めに取ってください。

3 液剤の除去



- スクイージーなどを用いて液剤をかき取ってください。

重要

- 完全に汚れが取れない場合は1～3の手順を繰り返してください。



PANSURFACE CO., LTD.

5-2-19, Juso-Higashi, Yodogawa-Ku, Osaka, 532-0023, JAPAN